



二〇二一年一月二五日
印刷
発行

第 104 卷 第 1 号 史学・地理学・考古学

特集 ジェンダー

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

特集 ジェンダー

特集「ジェンダー」によせて…………… 高 嶋 航 (1)

論 説

古代日本の布生産と女性…………… 東 村 純 子 (5)

江戸時代後期の祇園と一生不通養子娘…………… 鍛 治 宏 介 (37)

知識の翻訳・生産と身体政治…………… 姚 毅 (78)

——中国初の西洋産婦人科専門書『婦嬰新説』を中心に——

ロシア帝国からムスリム女性の解放を訴える…… 帯 谷 知 可 (113)

——O・S・レバヂェヴァとA・アガエフのイスラーム的男女平等論——

信仰と職業…………… 前 田 更 子 (155)

——両大戦間期フランスにおける女性教師「ダビデ」の世界——

女の仕事／男の仕事のポリティクス…………… 石 井 香 江 (188)

——ドイツ帝国郵便における性別職務分離の見取り図と展望——

ジェンダーと郊外…………… 関 村 オリエ (226)

——戦後日本における計画空間の誕生とその変容——

書 評

小浜正子著

『一人っ子政策と中国社会』…………… 幅 崎 麻紀子 (263)

史学研究会会則

(二〇一〇年一月二日改正)

第一条 本会は史学研究会と称する。

第二条 本会の事務所を京都大学大学院文学研究科内に置く。

第三条 本会は広く歴史に関心を持つ者が集まり、史学・地理学・考古学に関する研究を行うことを目的とする。

第四条 本会の事業は次の通りである。

1. 総会・大会・例会等の会合
2. 会誌『史林』等の発行

第五条 本会に次の役員を置く。

理事長一名、理事一五名以上三五名以内
(内常務理事四名)、監事二名、評議員
四〇名以上六〇名以内、委員若干名

第六条 役員は理事会及び評議員会によって選出され、総会の承認を受けるものとする。理事長は本会を代表し、会務を統括し、会員総会、理事会及び評議員会を招集する。理事は理事会を構成し、会務を処理する。とくに常務理事は、庶務・編集・会計・広報の各事務を担当する。監事は会計経理を監査する。

第七条 委員は理事長より囑託され、編

集・庶務の実務を分掌する。

第八条 役員の任期は、委員(任期一年)を除き、二年とする。但し、再任をさまたげない。

第九条 本会は第三条に掲げた目的に賛同する者をもつて会員とする。会員は次の2種類とする。

1. 正会員
2. 学生会員

第十条 会員は会誌『史林』の配布を受け、かつこれに投稿し、また総会に参加することができ。

第十一条 会員は、退会届を事務局に提出し、任意に退会することができる。また、会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなす。

- (1) 本人が死亡し、または会員である団体が消滅した時

- (2) 会費を三年間納入しない時

第十二条 会員は、所定の会費一年分を前納するものとする。会費の納入を二年分怠った時、雑誌の送付を停止される。さらに一年間会費の納入を行わない場合、会員の資格を喪失する。

第十三条 会員が既に納入した会費は返還しない。ただし一年分を超えて前納して

いる場合には、一年分を超える部分を返還する。

第十四条 毎年秋季に大会を開き、また適宜例会を開く。会場等はその度にこれを定める。

第十五条 毎年秋季において総会を開き、会務の報告を行ない、承認を受ける。

第十六条 本会の経費は会費、事業収入及び寄付金を以て支弁する。会費は誌代を以てこれにあて。

第十七条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終わる。

附 則 本会則の変更は、会員総会の決議によるものとする。

但し会務執行に必要な細則及び物価変動に基づく会費金額の変更は理事会がこれを行う。

『史林』投稿規定

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

論説 一段組五四字×一九行の体裁で、

三三〇〇字以内

研究ノート 二段組二九字×二〇行の体裁で、二〇〇〇字以内

研究動向 二段組二九字×二〇行の体裁で、三二〇〇字以内

史料紹介 二段組二九字×二〇行の体裁で、三二〇〇字以内

書評・論文評 二段組、八〇〇字以内
紹介 三段組、一二〇〇字程度

◇原稿の種類を明示すること。

◇いずれにおいても、本文や注だけでなく謝辞や図表・翻刻を含めて、それぞれの紙幅に収めること。

◇注は各章末に入れること。

◇「欧文タイトル」を添付すること。

◇英文、和文それぞれ五語以内のキーワードを添付すること。

◇論説には「要約」（四〇〇字以内）を添付のこと。「要約」は上記の紙幅制限の対象外とする。

◇論説および研究ノートの投稿者は、掲載が決定した時点で、「欧文要約」（六〇〇～八〇〇語程度）を提出すること。なお、英文要約に限り、翻訳による作成依頼にも応じるが、経費は投稿者負担とする。

◇投稿に際しては、（１）プリントアウト一部もしくはPDFファイル、および（２）電子データを送付する。電子デー

タに関する詳細は下記「補足」の〈電子データ作成要領〉を参照。電子データを準備できない場合は、あらかじめ事務局まで連絡すること。

◇図版を用いる場合は、下記「補足」の〈図版作成要領〉に従って作成、添付すること。

※注意…編集委員会において、印刷技術上、図版の修正や特殊活字の作成を要すると判断し、これを業者に委託した場合には、その経費の一部、数千円～数万円を負担していただきます。あらかじめご了解下さい。

◇原稿の採否は、査読審査を経て編集委員会によって決定される。

送り先…史林編集委員会

〒六八五二 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科内 史学研究会

『史林』投稿規定「補足」

〈電子データ作成要領〉

・電子データは、フロッピーディスク、CD-R、CD-RW、USBフラッシュメモリなどのメディアに保存して郵送することを原則とする。郵送に不便があるなどの事由で、メールによる投稿を希望する場合、あらかじめ事務局に問い合わせること。

せること。

・本文の電子データは、マイクロソフト・ワード、一太郎、テキストファイルのいずれかの形式で保存し、保存形式（OSおよび使用ソフト）を明示すること。

・図版に電子データを使用する場合には、300dpi以上の解像度とする。ソフト（IllustratorやPhotoshopなど）やページについて事前に照会・確認をすること。

〈図版作成要領〉

・本文原稿中に図版の割付箇所を注記すること。

・仕上寸法は、最大で170mm×110mm（キヤプシオン込み）とすること。

・図および写真は、仕上寸法の2倍（面積4倍）程度で作成し、希望縮尺率を明記すること。

・図は、トレーシングペーパーや製図用ケント紙などに製図用インキで明瞭に描くこと。その際、線の太さを一定に保つため、製図用ペンを使用することが望ましい。図中の文字は写真植字を用いて印刷するので、鉛筆書きするか、上にトレーシングペーパーを重ね該当箇所に文字のみを

書き入れること。また、インスタントレタリングやワープロ文字を原図に貼り付ける場合は、仕上段階の鮮明度を配慮すること。写真は、原版が十分に鮮明でコントラストが明瞭なものを選ぶこと。なお、巻頭にアート紙で印刷することを希望する場合は、割付・仕上等は編集委員会で調整する。その経費は投稿者負担とする。

・表は、仕上を配慮して、文字数や表現法を工夫すること。原表の掲載を希望する場合は、その旨を明記し、図版に準じた体裁を整えること。

※注意 図表に不備がある場合は、投稿者に修正を依頼するか、編集委員会が修正します（経費は投稿者負担となります）。

〈論文等の電子的公開について〉

・著作権法第二十一条、第二十八条に定められた著作権を史学研究会に委譲することに同意するものとする。（第二十一条は複製権、第二三条は公衆送信権に関するもの。）ただし、著者が論文等を任意のサーバーに機関レポジトリ等を使って公表する場合、以下の条件を満たす限りにおいて、本会は著者が委譲した著作権の

行使を認め、本会への承諾伺いも不要とする。
イ 『史林』の版面をそのままPDFファイルなどにして公開する場合は、掲載誌刊行後、二年を経過していること。
ロ 論文の出版を明らかにすること。
ハ 営利目的でないこと。

編集後記

（二〇一九年一月改定）

様々な理論的研究と結び付けてイメージされるジェンダー研究ですが、東京オリピック・パラリンピック組織委員会にまつわる前会長発言からの騒動や現男女共同参画担当大臣による選択的夫婦別姓に対する過去の所見などが取り沙汰されるにおよび、それが我々の社会や生活の中に確固として実在する問題であることを炙り出しました。こうした現状を十分に、そして批判的に理解するには、理論の補助を受けつつも社会の歴史的な実相に切り込むことが重要といえます。

さて、今号は「ジェンダー」をテーマとする特集号です。いずれも各分野の理論的到達点を示すとともに、実証的にも厚みの

ある論考となっております。これらの議論を通読することで、ジェンダー（とりわけ女性）に注目する視角を用いることでいかに違った世界を見出すことができるか、また、そもそもジェンダー（女性）に関わる基本的・実証的な検討がいかに必要とされているのかを実感していただけるものと考えます。じっくりと味読いただければ幸いです。（網島聖）

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenyukai.jp/index.html>

二〇二二年一月二五日印刷
二〇二二年一月二二日発行
史 林 第一〇四巻第一号（通算第五四五号） 定価二、〇〇〇円

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三・二七八七
FAX (〇七五) 七五三・二七八七

発行人 史学研究会

理事長 吉 本 道 雅

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田二九

史学研究会例会のお知らせ

左記のとおり、史学研究会例会を開催いたします。多数ご来会くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時 二〇二一年四月一七日(土) 午後一時～六時一五分

開催方法 オンライン(Zoom Webinar)、要・事前申し込み

※申し込み方法は史学研究会ウェブサイト(<http://www.shigakukenkuyukai.jp>)に揭示します。

テーマ 「滅び」

プログラム

開会挨拶 史学研究会理事長 吉本道雅

趣旨説明

第一部(午後一時一五分～三時四〇分)

岩井俊平 「都市の廃絶と交易ルート——クシャーン朝勃興期のバクトリアの場合——」

藤本 猛 「二帝北狩」と北宋の滅亡」

角田哲朗 「フルーフィー教団における終末論の一断片

——サイイド・イスハーク・アスタラーバーディーの『時の終わり』に関する見解——」

第二部(午後四時～五時四〇分)

吉岡 潤 「ポーランドの滅亡と再生に関する史学史的考察

——民族主義者ズィグムント・ヴォイチェホフスキ(一九〇〇～五五)の歴史評論を中心に——」

森下 達 「日常」と「滅び」との乖離

——一九六〇年代初頭の日本映画における核戦争・核エネルギー表象の再検討を通じて——」

全体討論(午後五時四〇分～六時一〇分)

開会挨拶 京都大学文学研究科歴史文化学系代表 谷川 穰

Special Issue
Gender

TAKASHIMA Ko, Foreword (1)

Articles:

HIGASHIMURA Junko, Women and the Production of Cloth in Ancient
Japan (5)

KAJI Kosuke, A Study of Gion and the Adopted Daughters who were
Separated from Their Parents for Life in the Late Edo Period (37)

YAO Yi, Knowledge Translation, Production, and Body Politics: Focusing
on China's First Western Obstetrics and Gynecology Treatise *Fuying
Xinshuo* (78)

OBIYA Chika, Calls to Emancipate Muslim Women from within the
Russian Empire: The Views of O. S. Lebedeva and A. Agaev on the
Equality between Men and Women in Islam (113)

MAEDA Nobuko, Faith and Profession: The World of the Davidées,
Women Teachers during the Interwar Period in France (155)

ISHII Kae, Die Politik der Frauen- und Männerarbeit: Grundriss der
Geschlechtertrennung am Arbeitsplatz in der Deutschen
Reichspost und seine Perspektiven (188)

SEKIMURA Orie, Gender and the Suburbs: The Origin and Evolution of
Planned Space in Post-War Japan (226)

Book Review

KOHAMA Masako, *One Child Policy and the Society of China*
(HABAZAKI Makiko) (263)

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. CIV No. 1

January 2021

Special Issue
Gender

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 2,000円

ISSN 0386-9369